

船舶の製品モデル化と組立シミュレーション

企業 / 名村情報システム(株)

研究者 / 野本敏治 (東京大学大学院船舶海洋工学専攻教授)

船舶の設計段階において、コンピュータ内に表現された製品モデルのコンセプトを用いて、組立シミュレーションを行い、組立工数の最小となるような組立姿勢を割り出し、これを基に確な日程・配員計画表を出力する。

本コンセプト研究の大枠を網羅したモデル化を実施することができた。ブロックの組立過程を計算機上でシミュレートすることが可能となり、その時の作業量の把握に欠かせない様々な情報を獲得することができるようになった。それらの有用な情報獲得は、より具体的な日程配員計画作成に有効であり、本コンセプトの有用性を確認することができた。